

一般会議会議録	
1 開会日	平成21年11月18日 午前 9時30分 開会 午前11時00分 閉会
2 場所	議員控室
3 出席議員	山田喜一議長（司会） 山口陽一副議長 奥津勝子議員 百瀬恵美子議員 浅輪いつ子議員 鈴木京子議員（書記）
4 傍聴議員	渡辺順子議員 竹内恵美子議員
5 出席町民	小磯幼稚園保護者の会 平田信子他4名
6 議題	(1) 町立大磯・小磯幼稚園の統廃合について (2) 私立幼稚園の誘致について (3) その他
7 その他	町民側からの資料提出 教育委員会 3月定例会時の資料・9月の幼稚園 検討会の資料（2枚）

(1) 議長あいさつ

第1回の一般会議で不慣れではあるが、議会基本条例で町民の意見を受け止めたい町政にしていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

(2) 出席者自己紹介（町民・議会）

(3) 小磯幼稚園保護者の会 意見要望

○一般会議は町民として心強く思う。12月議会に廃園の条例が上程予定と聞き、話し合いが足りないことや条件が整ってからにしてほしいと思っていることを伝えたい。10月27日に教育委員さんと懇談会を持ったときに、町民に説明していないと言ったら「まだですか」と驚かれた。正しい事実が伝わらないままだと不平不満がある。

11月12日の委員会を傍聴し、この問題について詳しく御存知ない議員の方もおられたので、議会でも話し合いを煮詰めて欲しいと思っている。経過説明を影響を受ける町内全域でして欲しいと伝えてきたが、一度もない。今までも事務方がやりますとって期待を持つが、行われなかったことがほとんど。決めることが決まってからの条例改正をしていただきたい。

- 民間の幼稚園へのアンケートは簡単な内容という印象。適応指導教室も入っていない。検討会ではのせませすという返事だったが、のらなかつた。会で示したものと違っている。
- 私立を含め4園・・・どうしても反対とは言わないが、園が決まらない段階で廃園されると保護者や子どもたちの気持ちはどうなるのか。大磯幼稚園は満杯になるかもしれない。うまくいっていない中で、ちゃんと決まるのか心配。
- 保育園の時は条例改正は最後だった。そのようにできると考えている。信頼関係がない中で何を急いでいるのか。成功のためには安心できる進め方が必要。
- 「私は検討委員だが、今までの経過がわからない。カヤの外」と思われている新しい委員さんもいる。保護者要望に対し、やりますといいながらやっていないのは不安。念のためにセイフティネットを考えて欲しいが、おざなり。改正されるとあとはなし崩しにならないか。

(2) 議員の質問と意見

- いままでの経過を文書で整理すると教育委員会が言っている。園区見直し等の回答が来ると思う。
- 検討委員会と事務方が課題を詰められていないことがわかつた。
- 夕張のように財政破綻は困る。財政健全化を図ろうかと人件費も削減している。町の一番の問題は町民・議会に説明しないこと。保育園ではサンキッズになるまでいろいろあつた。条例をつくらないと業者が応募できない面もあるが、運用面はしっかり考える必要がある。
- 民間の幼稚園が見つからない不安はないと思うが。
- 皆さんの不信感はわかる。町が言ったことを守らせるのは議会の役目。条例を変えないと募集要項がつかれないということ。ゴールが見えないとスタートが切れないという認識を持っている。
- 教育委員会が信頼を欠いていること自体問題。皆さんが不安に思っていることにどう応えられるか、議会も悩んでいる。納得してもらえるようにしていかないと、ありきではいけないと感じた。
- 一般会議をふまえ、何ができるか考えていきたい。住民への説明会は行うよう、教育委員会に話しに行く。
- 疑問に応え、幼児教育の点でも安心できるように時間をかけたい。子どもたちへの考えを聞けて、いいきっかけになつた。